

会議の概要

■ 養成部会構成員・採用部会構成員

- ・ 養成部会構成員名簿（R1. 12. 17現在）
- ・ 採用部会構成員名簿（R1. 12. 17現在）

■ 議事

- 令和3年度教員採用候補者選考について
- 出身校等における学校インターンシップについて
- 養成・採用段階における人材育成の現状と課題について

■ 概要

- 令和3年度教員採用候補者選考
 - ・ 志の高い人材の採用や志願者の拡大と教職員及び常勤等の講師となる人材の確保を進めるため、「宮城県元職特別選考の導入」や「教職経験者特別選考の要件の拡大」などの見直しを行うこととする。詳細は、4月に要項で公表する予定。
 - ・ 今後加点制度をさらに拡大するかどうかについては、現場のニーズを踏まえ、丁寧に検討する必要がある。
 - ・ 集団討議における評価の観点の明確化について今後検討する。
- 出身校等における学校インターンシップ
 - ・ 県内4大学から参加があり、128名の学生を19市町の106校で受入。
 - ・ 受入する学校や参加する学生に、インターンシップで実施することが想定される内容を具体的に伝えておくことにより、得られる結果も変わってくる可能性がある。
 - ・ 今後は、希望制で実施する本インターンシップと大学での必修によるインターンシップとの類似点や相違点を整理し、現在実施を見送っている大学にも参加してもらえよう、必要な見直しを行っていく。
- 養成・採用段階における人材育成の現状と課題
 - ・ 育成指標の活用については、市町村教委や教員にしっかり理解してもらうことが必要となることから、学校インターンシップにおいて、育成指標を意識した活動や面談を行うことにより、実践力の基盤となる意欲・人間性等の涵養に役立ててもらえよう、学校や大学への提案を検討する。
 - ・ ICTの活用については、現在総合教育センターが構築中のシステム上において、県教育委員会が有する最新の情報や資料等の公開を目指す。
 - ・ 特別支援学校の普通免許状の所持率向上については、県教委と大学とのさらなる連携・協力による免許状認定講習の拡充を検討する。
 - ・ 教員採用選考に関する加点制度、大学推薦制度、教師養成塾については、今後の大学からの意見や要望を踏まえ、必要に応じて関係機関で協議を行う。